

令和6年度 南区避難所運営訓練に向けて

南区役所 区民生活部 総務課

さいたま市
直下地震
震度6強
の被害想定

- **地震発生～12時間後**

最大18万人の避難者が発生し、うち12万人が避難所へ。
指定避難所以外の施設や、自家用車に避難する人も多数発生。

- **12時間後～3日**

ライフライン支障により、建物に被害がない住民も避難し、
避難住民が増加。食料、水等の物資、トイレ不足が顕在化。

- **4日～7日**

最大で22万人の避難者が発生、うち11万人が避難所に。
一部の物資不足は解消へ。



発災直後の 避難所の 想定

- 発災直後から多くの避難者が避難所へ。
- 避難所開設準備が整う前から、避難者が集まってくる。
- 避難所を開設する、避難所運営委員会のメンバーや市職員も被災者のため、人員がなかなか集まらない可能性大。
- 区災害対策本部は避難所以外の対応に追われるため、避難者対応は、現場にいる避難所運営委員会が対応しなければならない。
- トイレの設置前に、既存のトイレを勝手に使用されてしまうなど、訓練時にはなかったトラブル対応に追われる。



災害の発生 時困らない ために

- 様々な想定下での避難所開設の手順を確認しておく
初めに参集した人の役割は？すでに避難者が来ていたら？
待機スペースは？トイレを使いたいと言われたら？
雨が降っていたら？夜中だったら？
運営委員会のメンバーがほとんど参集できなかったら？
- 避難者にも設営に参加してもらう
物資を運ぶ、ブルーシートを敷く
トイレの設営を一緒にやってもらう
- 災害時を想像して、訓練を行う



今後、
訓練で実施
していただ
きたいこと

- **避難者の区割り（ゾーニング）訓練**

体育館等、実際の避難スペースにブルーシートで居住区画を設置していく。（P5参照）

避難者が避難所開設前から、集まってしまうことを想定し、なるべく短時間で、誰もが設置できるように訓練する。

- **HUG訓練、DIG訓練**

担当防災アドバイザーの指導の下、実施。

HUG訓練：避難所運営をゲーム方式で疑似体験することが出来る。

乳幼児連れ、介護が必要な方、外国人など、様々な想定
の避難者を、どのように割り振っていくか考えてみることで
実際の災害時の対応に生かすことが出来る。

DIG訓練：参加者が地図を使って防災対策を検討する
訓練。被害が予想される地域、災害時役に立ちそうな施設、
手助けが必要な人など、様々な情報を地図に落とし込み、
災害をイメージしていくことで、避難所運営に生かす。



今後、
訓練で実施
していただ
きたいこと
(2)

トイレの訓練の見直し

- 簡易トイレの組み立て、便袋の使用方法についての確認
- まずは既存の洋式トイレに便袋をかけて使用、トイレの個室を利用して、和式トイレに簡易トイレを設置し、便袋をかけて使用することを想定しているため、マンホールトイレや、組み立て式仮設トイレの訓練は縮小する。

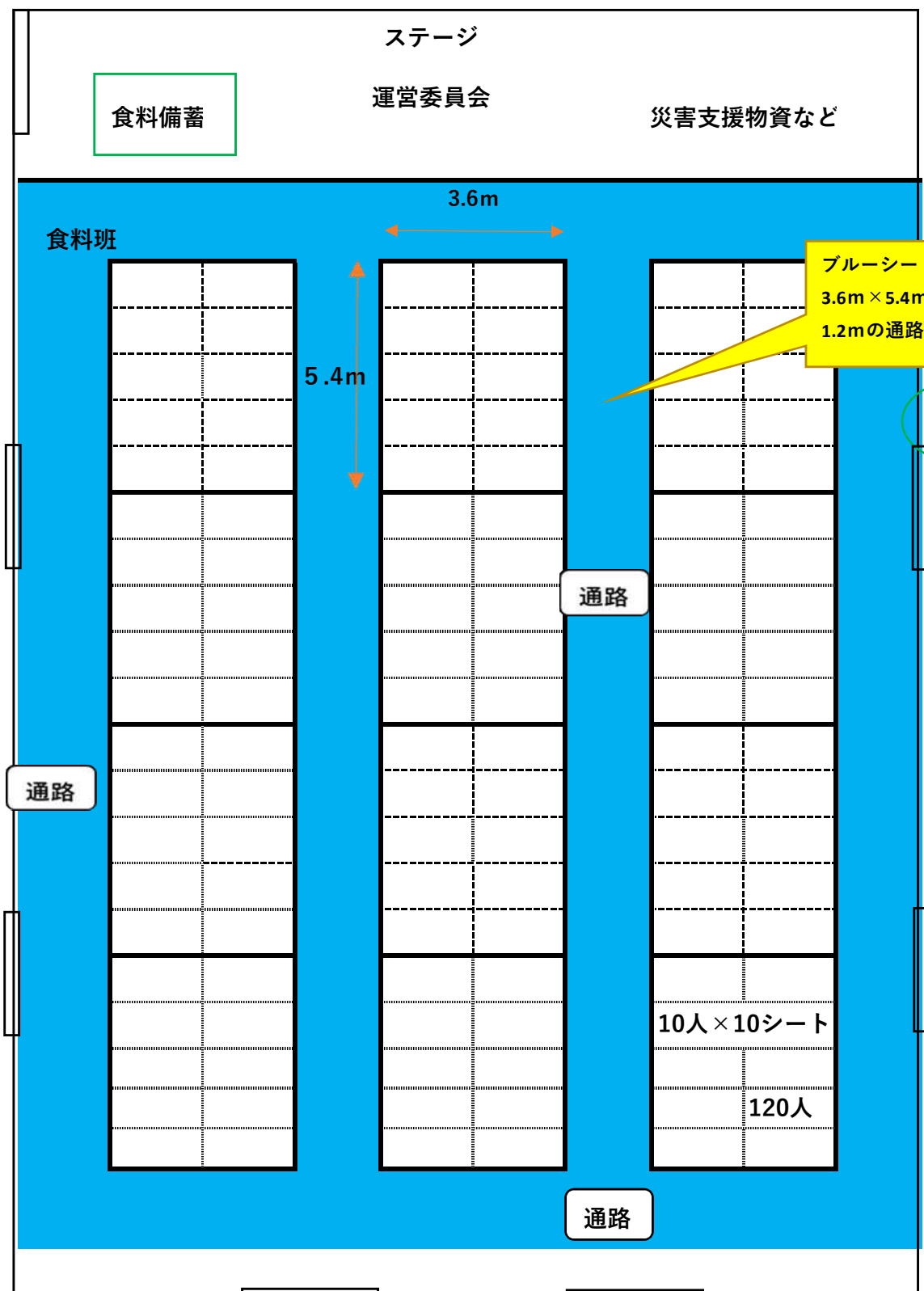


令和6年度 からの訓練 について (案)

- ・ 避難所一斉開設・運営訓練を、避難所一斉運営訓練へ開設訓練にプラスのメニューを実施していただき、運営訓練とする。(運営補助金対象訓練となります) P 6 参照
- ・ 5年に1度だった運営訓練該当避難所は、ゾーニング(区割り)訓練をメインに実施。(5か所)
- ・ ゾーニング訓練の前年はHUG訓練を実施。(5か所)
- ・ 南区保健センターの保健師による、講座を実施(2か所)
- ・ 応急給水訓練または水道局による講座を実施(2か所)
- ・ 消防署(消防団)による救助訓練または応急手当訓練(2か所)
- ・ 荒川氾濫時に広域避難をする避難先のゾーニング訓練と、避難元のゾーニング訓練が重ならないよう、調整。

今後の スケジュール

- ・ 令和6年4月 令和6年度の訓練説明会、訓練日程、訓練報告会の日程の通知発送
- ・ 令和6年6月 避難所担当職員の決定後、訓練説明会の開催通知発送
- ・ 令和6年7月 訓練説明会開催
終了後広域避難の運営委員会を開催
- ・ 令和6年11月 避難所一斉運営訓練・広域避難訓練実施
- ・ 令和6年12月 訓練報告会開催通知及び令和7年度訓練日程について通知発送
- ・ 令和7年1月 訓練報告会開催
終了後広域避難の運営委員会(反省会)を開催
※広域避難＝荒川氾濫時の水害想定



食料備蓄

ステージ
運営委員会

災害支援物資など

3.6m

食料班

5.4m

ブルーシート
3.6m×5.4m三つ折り
1.2mの通路を確保

環境班

通路

通路

10人×10シート

120人

通路

受付

情報班 総務班

出入口

出入口

出入口

救護班

南区避難所運営訓練実施計画

地区		避難所	応急給水施設	運営訓練の予定							
				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
大谷場	1	大谷場小学校	有	C	B	D	A	O	C	B	D
	2	大谷場東小学校		O	C	B	D	A	O	C	B
	3	大谷場中学校		D	A	O	C	B	D	A	O
谷田	4	谷田小学校	有	O	C	B	D	A	O	C	B
	5	善前小学校	有	C	B	D	A	O	C	B	D
大谷口	6	大谷口小学校		O	C	B	D	A	O	C	B
	7	向小学校		A	O	C	B	D	A	O	C
	8	大谷口中学校	有	B	D	A	O	C	B	D	A
南部	9	辻小学校◆		D	A	O	C	B	D	A	O
	10	文蔵小学校△	有	C	B	D	A	O	C	B	D
	11	辻南小学校▲		B	D	A	O	C	B	D	A
	12	岸中学校△		A	●	C	B	D	A	●	C
	13	南浦和中学校▲◆	有	A	O	C	B	D	A	O	C
	14	浦和南高等学校▲		O	C	B	D	A	O	C	B
	15	文化センター▲		B	D	A	●	C	B	D	A
武蔵浦和	16	南浦和小学校◆	有(井戸)	C	B	D	A	●	C	B	D
	17	浦和別所小学校◎		●	C	B	D	A	●	C	B
	18	沼影小学校◎★		C	B	D	A	O※	C	B	D
	19	白幡中学校★		D	A	●	C	B	D	A	●
	20	埼玉大学附属中学校◇		A	●	C	B	D	A	●	C
西浦和	21	西浦和小学校◆★	有	B	D	A	O※	C	B	D	A
	22	内谷中学校◆		B	D	A	O	C	B	D	A
西	23	浦和大里小学校◇◎	有	D	A	O※	C	B	D	A	O※
桜区	24	田島小学校◆◎		A	O	C	B	D	A	O	C

※ 当初の予定から変更した避難所(浦和大里R7⇒R8、西浦和R10⇒R9、沼影R9⇒R10) 水害想定訓練の広域避難先と避難元の運営訓練が重ならないように調整

○● ゾーニング訓練(旧)運営訓練 A HUG訓練 B DIG訓練 C 応急給水訓練または水道総務課出前講座又は応急手当訓練

D 保健師による講座、防災課出前講座、河川課出前講座、危機管理課の出前講座のいずれか

●は荒川氾濫時想定の大谷場地区避難先

△ 岸中学校(避難先) 文蔵小学校(避難元)

▲ 文化センター(避難先) 辻南小学校、南浦和中学校、浦和南高校(避難元)

◆ 南浦和小学校(避難先) 辻小学校、南浦和中学校、西浦和小学校、内谷中学校、田島小学校

◎ 浦和別所小学校(避難先) 沼影小学校、浦和大里小学校、田島小学校(避難元)

★白幡中学校(避難先) 沼影小学校、西浦和小学校(避難元)

◇埼大附属中学校(避難先) 浦和大里小学校(避難元)